

おわりに（編集後記）

神奈川県立青年の家は、昭和 35 年に設立された足柄青年の家をはじめとして、伊勢原青年の家、津久井青年の家、臨海青年の家、中央青年の家と時代の要請に応えた形で設立されました。そして、これら 5 つの青年の家は、あたかも 5 人兄弟のように、ともに学び、ともに悩みながら成長してきました。そして、ここに県立青年の家の使命が終わろうとしています。37 年間の務めでした。この間に延べにして 120 万人を超える青少年が、青年の家という「港」に立ち寄り、食糧や燃料を積み足し、時に修理やお色直しをして、世間という荒海に船出をしていきました。県立青年の家という「港」は閉鎖されることになりましたが、まだまだ「港」を必要とする青年はこれからも大勢いるでしょう。そして、リニューアルされる「港」、また新しく「港」が作られることもあるでしょう。これらの「港」での仕事の助けになればと青年の家の兄弟が力を合わせて頑張って冊子作りをしました。

また、37 年間の流れの中で、利用した青年だけでなく、青年の家職員 200 余名の汗と涙の結晶を伝えていくことも、いまここに働く職員の責務であると考え、2 年間の時をかけ、団体指導の多忙の中を、幾度となく集まり懸命にまとめ上げました。まだまだ完全な物とはいえませんが、今後への贈り物とします。

平成 10 年 3 月

参 考 資 料

- | | | | |
|---|-------------------|------------|-------------|
| 1 | 青年の家の生活 | 足柄青年の家 | 昭和 37 年 3 月 |
| 2 | 青年指導者養成研修会報告書 | 教育庁社会教育課 | 昭和 37 年 3 月 |
| 3 | 青年の家友の会報告書 | 教育庁青少年教育課 | 昭和 39 年 3 月 |
| 4 | かながわ青年の家の教育 | 神奈川県青年の家編 | 昭和 40 年 3 月 |
| 5 | レクリエーションキャンプの手引き | 神奈川県青少年育成課 | 昭和 41 年 2 月 |
| 6 | つどいの言葉 | 県立青年の家編 | 昭和 41 年 3 月 |
| 7 | ゲーム集 | 神奈川県青少年育成課 | 昭和 42 年 3 月 |
| 8 | ソング集 | 神奈川県青少年育成課 | 昭和 43 年 3 月 |
| 9 | かながわ 青年の家の教育（改訂版） | 神奈川県立青年の家編 | 昭和 44 年 3 月 |

第一編 総論

第一章 青年の家のあり方

1. 現在青年が求めているものはなにか
2. 神奈川県青年の家の性格

第二章 青年の家の指導方針

1. 集団生活のあり方
2. 自主・自律の考え方
3. 考える生活
4. ボランティア・スピリット

第三章 青年の家の今後の方向

1. ボランティアの養成
2. 三青会の充実
3. 青指友の会の発展
4. 新しいグループ作り
5. 神奈川県青年の家連絡協議会

第二編 指導

第一章 事前打合せ

1. 事前打合せの意義
2. 資料の作成
3. 注意事項
4. カウンセラー打合せ

第二章 第一日目の指導

1. 指導目標
2. 指導内容

第三章 第二日目の指導

1. 指導目標
2. 指導内容

第四章 第三日目の指導

- 1. 指導目標
- 2. 指導内容
- 第五章 事後指導
 - 1. 事後指導の意義
 - 2. 事後指導の実際
- 第三編 応用
 - はじめに
 - 第一章 青年の家での話
 - 1. お話のあり方
 - 2. お話の内容
 - 第二章 フィルム・フォーラム
 - 1. フィルム・フォーラムの利用
 - 2. 主なフィルムの内容
 - 第三章 レクリエーション
 - 1. レクリエーションの必要性
 - 2. レクリエーションの内容
 - 第四章 会 議
 - 1. 会議のもつ意義
 - 2. 会議の種類
 - 第五章 評価と反省
 - 1. 評価・反省の意義
 - 2. 評価方法の変遷
 - 3. 感想文の具体的な内容
 - おわりに

10 青年の家十年のあゆみ

神奈川県青少年事務局

昭和 45 年 11 月

- 第一章 統計からみた青年の家の 10 年間
 - 第一節 どのような団体が利用してきたか
 - 第二節 どのように利用してきたか
 - 第三節 統計からみた青年の家の問題点
- 第二章 プログラムから見た青年の家の 10 年間
 - 第一節 プログラムがねらっているものは何か
 - 第二節 プログラムはどのように変わってきたか
 - 第三節 プログラムに残された今後の問題点
- 第三章 指導者養成からみた青年の家 10 年間
 - 第一節 グループ・リーダーの養成はどのように行われてきたか
 - 第二節 施設中心のリーダー養成は "
 - 第三節 地域社会の "
 - 第四節 既成リーダーの育成はどのように行われてきたか
 - 第五節 リーダー養成からみた問題点

第四章 評価からみた青年の家の10年間

第一節 評価項目はどのように変遷してきたか

第二節 利用団体は青年の家をどのように評価してきたか

第三節 青年の家のプログラムは、研修生からどのように評価されてきたか

第四節 青年の家職員は、研修生をどのように評価してきたか

第五節 評価における問題点

第五章 これからの青年の家のすがた

第一節 青年の家における研修のねらい

第二節 青年の家の性格づけ

第三節 青年の家職員の指導のあり方

(付)

青年の家歴代職員一覧表

青年の家利用統計

青年の家利用団体一覧表

青年の家出版物一覧表

11 神奈川青年の家 ボランティア 神奈川県立中央青年の家 昭和46年1月

第一章 ボランティアとはなにか

第二章 青年の家のボランティア

第三章 青年の家におけるボランティア活動の実際

第四章 青年の家ボランティアの問題点

12 つどいのことば集 昭和49年3月

13 県立青年の家概要 —— その後10年 ——

神奈川県立青年の家

昭和56年3月

はじめに

1 青年の家の運営方針と教育目標

2 施設概要と沿革

3 主要事業

(1) 自主事業

(2) 主な事業

4 研修プログラム

(1) プログラムはどう変わってきたか

(2) 話し合いの方法

ア. FF 討議法

イ. イメージクラフト討議法

ウ. Pipette Discussion

(3) プログラム例と概要

ア. プログラム作成の基本的な流れ

イ. プログラム概要

ウ. いろいろなプログラム例

5 利用状況

(1) 利用統計

(2) 利用団体名一覧

6 歴代職員一覧

14 昭和60年度 指導資料

—— 「よりよい研修をめざして」 ——

昭和61年3月

はじめに

第1章 よりよい研修のために — 研修生との接し方

- 1 青年の家自身が“型”にとらわれていないか？
- 2 プログラムは“型”にはめる必要があるのか？
- 3 指導効果をあげるには
- 4 研修効果の持続をどう図るか？
- 5 青年の家職員と引率者・指導者の関わり

第2章 プログラム研修

- 1 発達段階を踏まえたプログラムのあり方
- 2 明日へのかながわくにづくりと新しいプログラム
- 3 今後の課題

第3章 レクリエーション研究

- 1 ゲーム・ソング
- 2 キャンドルファイヤー（キャンプファイヤー）
- 3 野外ゲーム
- 4 野外活動
- 5 まとめ

第4章 ボランティアとの接し方

- 1 具体的な展開
- 2 青年の家のボランティア養成の課題と留意点

15 昭和61年度 指導資料

昭和62年3月

「効果的指導の展開」 ～よりよいプログラムの研究～

はじめに

第1章 地域の特性を生かしたプログラム

- 1 キャンプサイトを利用した「林間ディスクゴルフ」
- 2 日向溪谷での「史跡ウォークラリー」
- 3 道志川溪谷での「写真オリエンテーリング」
- 4 芦名海岸を利用した「砂の造形」
- 5 「鷲尾山オリエンテーリング」
- 6 各青年の家の特色を生かしたプログラムの参考例

第2章 教科に関連づけたプログラム

- 1 人間音階（ヒューマンスケール）
 - 2 計測量
 - 3 漢字島の探検
 - 4 計算コンパスゲーム
 - 5 タッチワーク
 - 6 手作り石けん
 - 7 教科的側面から見た研修プログラム
 - 8 学校の施設利用と学習指導要領上の位置づけ
 - 9 まとめ
- 第3章 プログラム上における安全管理
- 1 集団宿泊研修における安全指導
 - 2 施設面の安全点検
 - 3 まとめ

16 昭和62年度 指導資料

昭和63年3月

「効果的指導の展開」 ～よりよい研修プログラムの研究～

はじめに

I 自然とのふれあいを求めて ー野鳥観察を通してー

- ・問題の所在
- ・青年の家周辺における野鳥の生態
- ・野鳥関連分野の研修プログラム化に向けての一試案
- ・まとめ

II OUTWARD BOUND AUSTRALIA

ープログラム・安全管理・指導者養成ー

- ・OUTWARD BOUND SCHOOL
- ・プログラムと安全管理
- ・指導者養成
- ・まとめ

III 新しい野外ゲーム

- ・フィールドゲーム
- ・グリーンゲーム
- ・写真を活用したウォークラリー

研究テーマとグループ分け

あとがき

17 昭和63年度 研究紀要

「魅力ある青年の家をめざして」

平成元年3月

はじめに

I インドアふれあいゲーム

- 1 わいわいブロック
- 2 コピーブロック
- 3 ふれあいイニシアティブゲーム
- II アウトドアふれあいゲーム
 - 1 雨の中、みんなでびしょぬれゲーム集
 - 2 鷲尾山ウォークラリー
 - 3 ロープ・コースの研究
- III 青年の家周辺の自然・文化財
 - 1 各施設周辺の素材
 - 2 理解を深めるための方策
 - 3 まとめ
- IV 青年の家における生活指導
 - 1 生活指導場面のいろいろ
 - 2 指導事例集
 - 3 終わりのことば
- あとがき

18 平成元年度 研究紀要

「魅力ある青年の家をめざして」

平成2年3月

はじめに

第1章 出会いのゲーム

- ・ソング
- ・座席の移動しないもの
- ・動きのあるもの
- ・気持ちを静めて、まとめになるもの

第2章 野外活動

- ・コレクトカード
- ・火起こし
- ・オリエンテーリング

第3章 イニシアチブゲーム

- ・闇夜のタヌキ
- ・思案橋
- ・へそのゴマ
- ・ゴジラの婚約指輪
- ・暗闇新聞

第4章 話し合いの技法

- ・FF (FIVE-FINGER) 方式
- ・部下と上司
- ・コピーブロック

おわりに

19 平成2年度 研究紀要

「魅力ある青年の家をめざして」

平成3年3月

はじめに

- ナイトゲーム
- 冒険オリエンテーリング
- 山林を利用したハンモックビバーク
- 買い物ウォークラリー
- 青年の家におけるイニシアチブゲーム

おわりに

20 平成3年度 研究紀要

「魅力ある青年の家をめざして」

平成4年3月

はじめに

- I 班活動・係り活動を取り入れた大山登山
- II エコラリー in 津久井
- III フライングゴルフコースを作るにあたって
- IV 青年の家における中学校宿泊学習
- V カウンセリングマインドと青年の家の教育機能
- 平成3年度青年の家合同研修会 個人研究抄録

おわりに

21 平成4年度 研究紀要

「魅力ある青年の家をめざして」

平成5年3月

はじめに

第1章 青年の家宿泊研修

- 1 宿泊研修に向けて
- 2 研修内容
- 3 プログラムのいろいろ
- 4 その他の研修
- 5 おわりに

第2章 青年の家宿泊研修の評価

—中学生のふりかえり表の集計結果から—

■はじめに

■調査の方法

■結果と考察

- 1 プログラムについて
- 2 生活について
- 3 期待度と満足度
- 4 良かったプログラムと良くなかったプログラム

■おわりに

第3章 インドアふれあいゲームⅡ

はじめに

- 1 ねねちゃんの家はどこ
- 2 ジャンケンラリー
- 3 室内番フィールドゲーム
- 4 わいわいブロックⅡ
- 5 コレクトカード型わいわいブロック

おわりに

22 平成5年度 研究紀要

「魅力ある青年の家をめざして」

平成6年3月

はじめに

- 利用者に好評な青年の家のオリジナルプログラム……臨海青年の家
 - ・サザンクロス探検家～宝物をさがせ
 - ・静思の時間～施設周辺環境を生かして
- ウサギ追いラリー……伊勢原青年の家
- イメージクラフト……津久井青年の家
- 青年の家のキャンドルファイヤー……中央青年の家

おわりに

23 平成6年度 研究紀要

「魅力ある青年の家をめざして」

平成7年3月

はじめに

- 青年の家の自主運営 ～自分たちの手で作り上げる生活体験～

はじめに

- 1 自主運営とは
- 2 自主運営の進め方
- 3 自主運営を進める上での留意点

おわりに

- 神奈川県立青年の家の現状と今後のあり方

はじめに

- 1 県立青年の家のこれまでの位置づけ
- 2 利用者から見た青年の家
- 3 青年の家の今後の展望について

- 引率者アンケートについて

- 1 引率者アンケートの目的
- 2 これまでの引率者アンケート
- 3 引率者アンケートの内容
- 4 団体引率者アンケートの実施方法

- 青年の家のコミュニケーションゲーム

はじめに

- 1 GWTとは

- 2 青年の家での運用
- 3 青年の家で行っているコミュニケーションゲームの例
- 4 コミュニケーションゲームの留意点
- 5 ふりかえり
- 6 まとめの講評例

おわりに

青年の家研究紀要の索引（昭和60年度～平成5年度）

おわりに

24 平成7年度 事業概要（年報と研究紀要）

「魅力ある青年の家をめざして」

平成8年6月

はじめに

I 年報

- 1 施設概要
- 2 施設の利用状況
 - (1) グラフで見た利用状況
 - (2) 利用状況一覧表
 - (3) 各所の利用状況（月別）
 - 伊勢原青年の家
 - 津久井青年の家
 - 臨海青年の家
 - 中央青年の家
- 3 自主事業（青少年指導者養成事業及び交流と連帯事業）
- 4 利用団体一覧（各所）
- 5 各青年の家便り
 - 伊勢原青年の家
 - 津久井青年の家
 - 臨海青年の家
 - 中央青年の家
- 6 職員合同研修会の記録

II 研究紀要

- 4所連携の広域プログラム
- 環境影響予測ゲーム
- 引率者アンケートについて

おわりに

体験学習の手引き

～これからの青少年活動のために～

平成10年3月発行

編 集	神奈川県立青年の家合同研修会
発 行	神奈川県立青年の家
印 刷 所	(株) 栄文舎印刷所

住所：神奈川県津久井郡津久井町中野 545 〒220-0207

TEL：0427 (84) 1185

神奈川県立青年の家